

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 6-4-2	事務事業名 虐待防止のための啓発事業	所管部課 子育て支援部 子ども家庭支援センター
----------------	-----------------------	----------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	<p>平成26年に発生した児童死亡事案の検証委員会より、子供たちに関係する各機関及びすべての人々が、児童虐待についての認識を深め、地域でなんでも相談できる場所・人を育てていくことで、未来ある子供たちの命が守られる社会を創ることを目指す。その実現のため、市民の児童虐待防止について意識が高まるよう啓発の取組を充実させると共に、子ども家庭支援センターのどかの認知度を高め早期の対応につなげていくことを目的とする。</p>	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	<p>事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する</p> <p>虐待防止のため、主に以下の時期に啓発活動を行っている。</p> <p>①11月にオレンジリボンキャンペーンとして児童虐待防止月間に啓発事業を開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民まつり・こそだてフェスタ・リレーマラソン(12月): 来客者に向けて、チラシや子ども家庭支援センターのマグネット等を配布。 ・庁用車に児童虐待防止のマグネットを貼付。 ・高齢者・障害者虐待防止と併せて(三虐待防止キャンペーン)市報掲載及び、講演会の開催。 <p>②毎年度末に、市立児童生徒に向けて子ども家庭支援センター啓発カード及びリーフレットの配布。 (予算事業名:03.02.01.11 子ども家庭支援センター運営管理費)</p>	
事業開始時期	平成26 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費(A)			745	735	598
国庫支出金・都支出金			372	367	299
財源内訳	千円				
地方債					
その他 ()					
一般財源		0	373	368	299
所要人員(B)	人		0.90	0.90	0.90
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	7,390	7,142	7,469
臨時職員賃金等(C')	千円		0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	8,135	7,877	8,067
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (事業回数)	千円		2,712	1,969	

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
① 啓発活動事業回数	実績値 回		3	4	
②	実績値				
《指標の説明 など》 平成26年度は市民まつり・こそだてフェスタ・三虐待防止キャンペーンに出展したが、平成27年度はそれらに加えてリレーマラソンにも出店した。					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次 事業参加者数	目標値			前年度以上	前年度以上
	実績値		238	1,177	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明 など》 平成26年度は市民まつり・こそだてフェスタ・三虐待防止キャンペーンに出展したが、平成27年度はそれらに加えてリレーマラソンにも出店した。(平成26年度は子育てフェスタの参加者数のみを計上)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	近年のニュース報道や、虐待通告件数の増加等、虐待は社会問題として認識されつつあるが、今でも虐待家庭の訪問時に、「しつけとして手をあげている。」との認識を持つ保護者がいる。 また、平成25年に実施した調査では「子育てについて気軽に相談できる場所」の場所を、子ども家庭支援センターと答えた市民は認知率が3.2%と低かった。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市との連絡会では、虐待防止のための啓発活動について他市が積極的に取り組んでいるとの報告はなく、子供に関わる機関からの情報収集に力を注いでいる状況のみ報告を受けている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	平成27年度に、厚生労働省が「児童相談所全国共通ダイヤル189」を開設し、国民に広く虐待通告を啓発している。

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	児童虐待防止に向けては、子ども家庭支援センターの認知度を高める必要がある。 今後は、市ホームページの効果的な活用や、講演会やシンポジウムなどでの啓発を進め、より多くの市民への周知を図りたい。

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	引き続き、市民周知の充実を図る。
---------------	------------------